

「第3次町田市環境マスタープラン」の策定について

2012年4月に策定した「第二次町田市環境マスタープラン」（以下、「現行計画」という。）が2021年度をもって終了するため、2022年度から2031年度までを計画期間とする「第3次町田市環境マスタープラン」（以下、「次期計画」という。）を策定します。

次期計画の策定について、2021年1月19日に、市長の附属機関である町田市環境審議会に諮問しますので、以下のとおり報告します。

1 背景・目的

現行計画の取組においては一定の成果がありました。一方で、地球温暖化対策やごみの減量の面では課題が残っています。

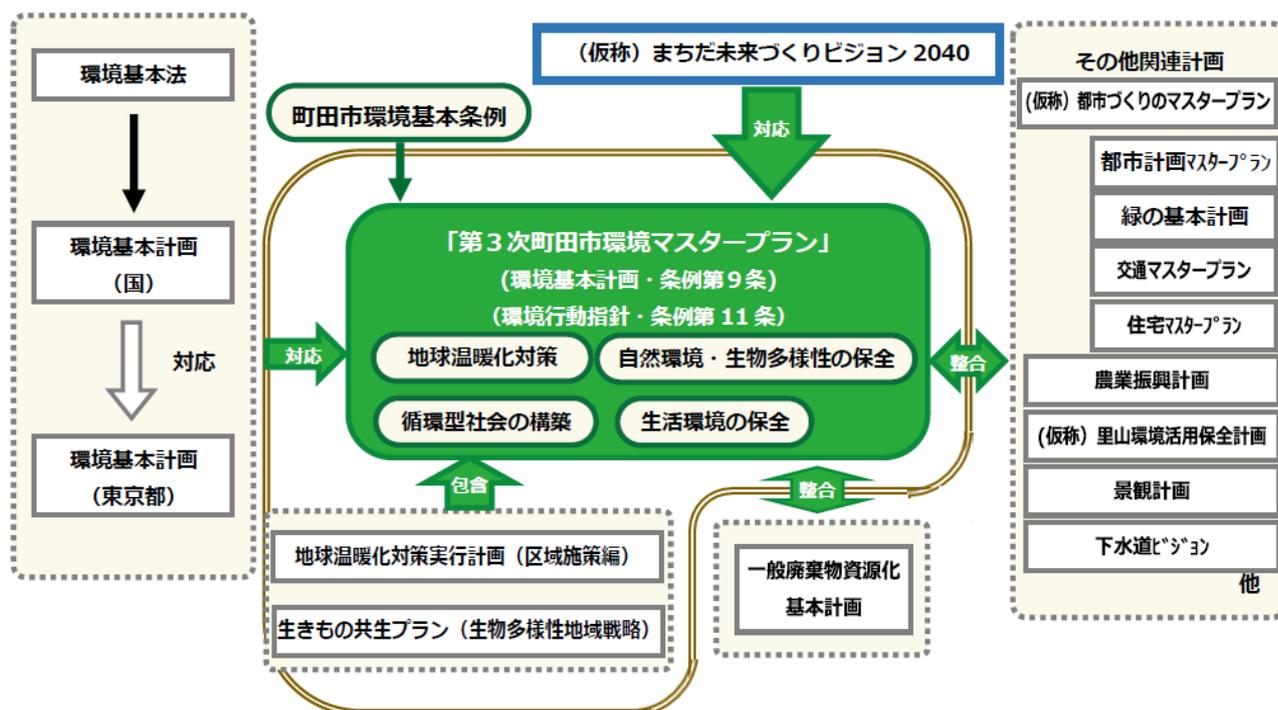
現行計画の期間内において「持続可能な開発目標（SDGs）」や「パリ協定」の採択、「第五次環境基本計画」の閣議決定等があり、国内外における環境を取り巻く大きな情勢の変化が起こっている状況です。

次期計画は、このような国内外の環境を取り巻く情勢の変化に対応し、現行計画の取組の成果や課題、環境に係る状況の変化や市民の意向等を踏まえるとともに、市の上位計画・関連計画との整合を図りながら、新たな町田市の環境政策を推進するための計画とする必要があります。

年	主な背景の変化	概要	主体
2015	「持続可能な開発目標(SDGs)」の採択	国連が採択した国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についての目標	国外
2016	「パリ協定」の発効	温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組み	国外
2018	「第五次環境基本計画」の閣議決定	国際的潮流を踏まえた、政府の環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱	国内
2018	「第5次エネルギー基本計画」の閣議決定	エネルギーを巡る国内外の情勢変化を踏まえ、2030年、更に2050年を見据えた新たなエネルギー政策の方向性を示したもの	国内
2019	「ゼロエミッション東京戦略」の策定	世界の大都市の責務として、2050年にCO2排出実質ゼロに貢献するためのビジョンと具体的な取組	都
2022	「(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040」の策定予定	新たな社会状況の変化を踏まえた目指すべき未来(将来像)や基本目標、経営方針などを示した市の最上位計画	市

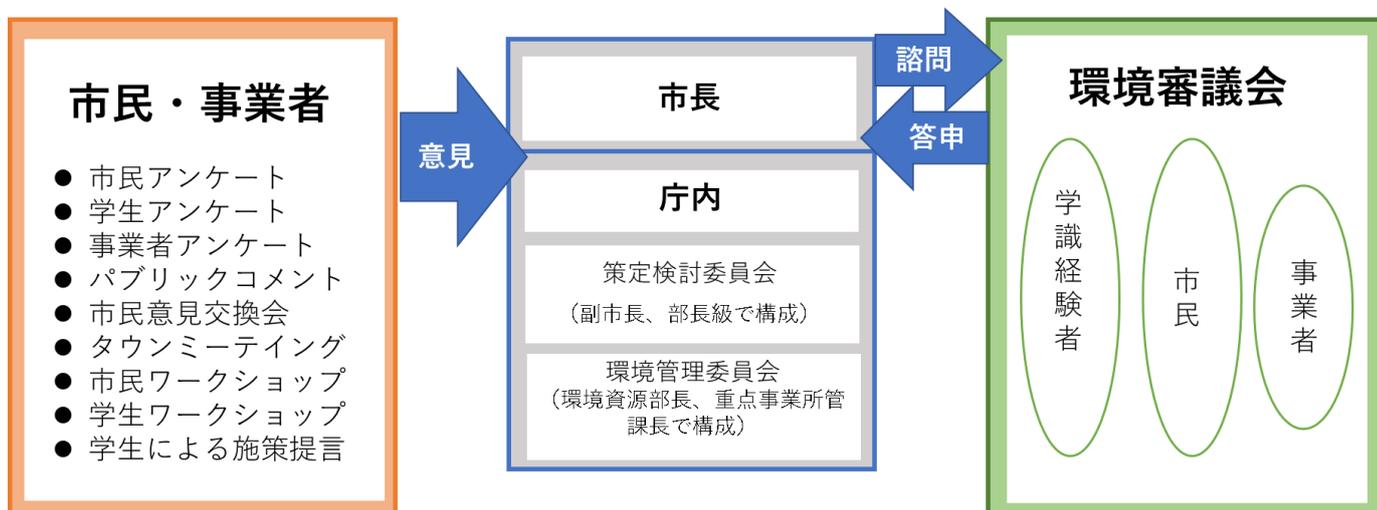
2 計画の位置づけ

「(仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040」をはじめとした、環境に関連するさまざまな計画や条例との整合を図りながら取組を推進していきます。次期計画には、新たに策定する「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」や現行計画と対象とする範囲の重なる「生きもの共生プラン」を包含し、それぞれアクションプランとして位置づけます。



3 策定体制

環境審議会や庁内での各種委員会等において、協議を行いながら計画策定を進めます。また、市民の意向・意見等を反映させるため、市民アンケートやタウンミーティング、ワークショップ等の多様な手法を活用した意見収集を実施します。



4 策定の流れ

はじめに、町田市の環境を取り巻く国内外の最新情勢、町田市の地域特性、現行計画における目標達成状況の分析・評価、市民・事業者のニーズの把握を行い、現況の整理を行います。

現況整理結果を踏まえ、主要な課題の抽出・整理を行った上で、次期計画の基本的方向性（環境像、基本目標）の検討を行い、施策の体系を含む骨子を策定します。

骨子に基づき、目標・指標の設定、施策・事業の立案、進行管理方法の検討を行い、素案を策定し、パブリックコメント等を経たうえで、最終的な計画として策定します。



5 策定スケジュール

2021年	1月	環境審議会へ諮問
	8月	素案策定
	9月	行政報告（素案）
	10月	パブリックコメント
2022年	1月	環境審議会から答申
	2月	計画策定
	3月	行政報告（策定）

6 次期計画の方向性

次期計画の方向性は以下の6点となります。

- ①地球温暖化対策の強化
- ②自然環境と生物多様性の保全
- ③循環型社会の構築
- ④生活環境の保全
- ⑤SDGsの推進
- ⑥連携・協働の仕組みの強化

方向性のまとめ

社会情勢（SDGs等）や環境の変化に的確に対応し、町田の特性である水とみどりの豊かさを保全し、生活環境の維持向上を図るとともに、市民・事業者・市がより一層連携・協力することで次世代にまちだのよりよい環境を引き継いでいくことを目指していきます。